

石クリ通信

3月号

短歌作りもいいかも

院長 石川 悟

ゴルフ仲間のT先生が短歌を始めて、新聞の短歌コーナーに投稿しているという話を聞いて、少し興味を持ちました。また別のT先生の奥様は、以前から歌を詠み、新聞の「秀逸」に選ばれているくらいレベルで、先日その短歌のいくつかを見せてもらいました。残念ながらここに紹介できませんが、短い言葉の中に美しい情景が浮かび、その時の作者の感動が伝わって来ました。

二月十三日の日経新聞の「うたごころは科学する」というコラムで「短歌は人生を観察し直し、色づけ、味つけをして五七七七七で表現する」、鍵となるのは「自分の喜怒哀楽を種としながら、さらに人間誰かが持つ何かを掴んでいるかどうかだ」とありました。私自身、短歌作りは中学以来やっていないと思いますが、頭の体操になるだろうと考え、思い切って作ってみました。(いつまで続くか...?)

歌作り 友に誘われ 五七五 言葉求めて 眠りに入る
靴下と 見まがう足の 子犬来て ソックスと名付け 元気に跳ねる

節分

看護師

太田 小百合

豆まきには「鬼を打ち払う」意味と、「豆を投げ与えて恵み、静まってもらう」という二つの意味が込められているそうです。ではなぜ豆をまくのでしょうか？ お米じゃダメなんだろう？ か？ 豆は「魔を滅する」マメであり、五穀(米・麦・アワ・キビ・豆)の中では一番かたくて投げつけると痛いからだそうです。今年も豆まきをしたあと、年の数だけ豆を食べました。豆が苦手な私は00個の豆を食べるのが大変でした。

軽いバッテリーに交換すれば...

事務

吉田 政子

携帯のバッテリーの持ちが悪く、知らないうちに使えない携帯電話になってしまっている事が度々あり、常に充電用のバッテリーを持ち歩いていました。この充電用のバッテリーが結構重く、悩みの種だったので長い間使った携帯を新しくしました。新しい携帯には、古い携帯にあった所に操作ボタンがなかったり、何が駄目なのか持ち主の顔を顔認証が認識してくれず、角度を変えながら何度も登録を試みたりと、折角バッテリー問題が解決して喜んでいたら、機械音痴の私がいこなすまでには、もう少し時間と練習が必要です。

ソッキー

事務長 石川 都

わが家に仔犬が来た。去年の秋に十六年半も家族同然であったパブロが亡くなり、皆ペットロスに陥った。年明けに知人に保護犬がいなか尋ねたところ、年末に生まれた野良ちゃんがいると連絡があり、皆で出向いた初対面の日に、あまりの可愛さにそのまま貰って来てしまった。

母犬が産み落としたまま育児放棄してしまい、人間のママが夜中も授乳して育てたとのこと。全身はほぼ黒で尻尾の先と足先のみ白く、靴下を履いているようなので、ソッキーと名付けた。ソッキーとはソックスの英語版幼児語である。ただ本名は格調高くソクラテス。

まだ赤ちゃんなので犬用ミルクとフードを上げているが、本名のように賢く、トイレもすぐ覚え、よく食べよく寝る健康優良児である。鳴くのは空腹時と遊んでほしい時、それも人の姿が見える時のみなので、夜中は静かだが、朝どんなに忍び足で行っても居間に入るや否や、腹減った！とキャンキャン鳴き始める。また誰が教えた訳でもないのに、私達大人にはふざけて甘噛みしても、孫たちには抱かれても暴れず噛まない。さすがソクラテスである。

先日は院長のチェロの洗礼を受けた。リビングでガンガン響くチェロの音にも、呆然と？おとなしく座っている健康な姿には笑ってしまいました。幼心にも、この音に慣れないとこの家にいさせてもらえない...と悟っていたのかもししれない。

ともあれわが家に来てまだ一月足らずなのに、ソッキーはもうすっかり家族の一員である。暖かくなったら外に出て、賢く頼もしい番犬となる予定である。



我が家のおひなさま

看護師

澤田 彰子

我が家のお内裏さま。なかなかのイケメンでしょう。娘曰く現代っ子はビジュアルがいいと言うそうです。実はこれ、インスタで撮った写真なんです。こんな楽しい事ができるなら携帯にハマるのも仕方ないですね。

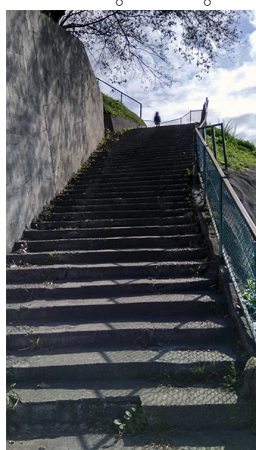


ひ孫の学校

看護助手

柴田 さち子

娘の孫が通っている小学校は、久慈小学校です。高台にあるため、街が一望でき、眺めは最高です。ただ最高の景色を見るためには大変なことが...。孫に誘われて学校へ行き、下から階段を見て驚きました。一段一段数えながら上って行き、最後の一段までやっと息が続きました。全部で一五六段ありました。子供達は、毎日毎日重いカバンを背負って六年間頑張っています。毎日コロナウィルスの話で、子供達も不安です。コロナが早く終息することを願っています。



音楽園チームラボ

事務

森 多加子

光の祭典チームラボが今年も水戸音楽園で開催されています。息子が案内係のアルバイトをしているのですが、コロナの影響で来園者がとても少ないそうです。息子が撮影してきた写真を見せてもらって、とても幻想的で行ってみたいになりました。三月いっぱい開催されているようなので、もう少し暖かくなると、梅の花が咲く頃に出掛けてみようと思います。



おばちゃんになると

通信・ウェブ担当

石川 香

歳を聞かれるのが嫌になる↓ついこの間まで『別にいいじゃん』で思ってたのに、赤の他人に歳を聞かれると、すごくプライベートな事を聞かれているようで、何だか嫌。つか歳が分からなくなる。三六？三七？三八になったんだっけ？佐藤健がすごく好き↓若い俳優のドラマを見てると、君もおばちゃんになったねと夫に言われる。写真に映る顔が変わってきた↓明らかに、二十代の頃とは目が違う。心は変わらずまだ二十代なのに。そんな事言っちゃうのもおばちゃんだ。